

安全データシート (SDS)

作成日 2020年1月8日

改訂日 2023年8月8日

1. 化学品（製品）及び会社情報

製品名 : JA-11 エヌビーフォーム
会社名 : 株式会社ジャパンアイビック
会社住所 : 〒262-0045 千葉県花見川区作新台5丁目4番1号
担当部門 : 開発営業部
電話番号 : 043-259-9461
FAX番号 : 043-259-9571
緊急連絡先 : 043-259-9461
推奨用途 : 吹出口及び点検扉用ガスケット
整理番号 : 0030

2. 危険有害性の要約

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

危険性 : 基本材料・・・消防法に基づく火災予防条例の「特殊可燃物」に該当する。
: 剥離紙・・・燃焼・熱分解により、CO₂、COを発生することがあるので注意する。

環境影響 : 該当しない。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物
化学名 基本材料 : ニトリルゴム (NBR) と塩化ビニル樹脂 (PVC) の発泡体 (単独気泡)
簡易粘着部分 : アクリル樹脂系粘着剤
剥離紙 : ポリエチレン及びシリコーン皮膜紙

化学分類 基本材料 : 合成ゴム発泡体

主要原料の添加物及び残留物

基本材料部分

成分および含有量

主要原料 : ニトリルブタジエンゴムと塩化ビニルとのブレンドゴム (NBR-PVC)

難燃剤 : アルミナ [Al₂O₃]

有機系添加物 : ベンゾチアゾール
(CAS No. 95-16-9)

: リン酸フレジルジフェニン
(CAS No. 26444-49-5)

: アゾジカルボンアミド
(CAS No. 123-77-3)

: ポリエステルグリコール

: 亜鉛

4.応急措置

基本材料：適切な取り扱いを行う限り人体に影響が出ない。

簡易粘着部分：目に入った場合、こすらずに異物感がなくなるまで清水で洗浄し、必要に応じて医師の診断を受ける。

：皮膚に付着した場合、水又は微温湯で洗浄の後、石鹼でよく洗う。

：多量に飲みこんだ場合、吐かせた後、医師の手当てを受ける。

：吸入した場合、清浄な水でうがい、洗浄などを行い除去する（一般の異物と同様）場合によっては医師の診断を仰ぐ。

5.火災時の措置

消火方法：空気呼吸器を着用して消火に当たる。

また、粘着剤部分は延焼し易いので、火元への供給を断ち風上より消火活動を行う。

消火剤：散水、ドライケミカル、泡、炭酸ガス。

※消火時、アセトアルデヒド、一酸化炭素などの有毒性ガスを含む恐れがあるため、自給式の呼吸装置が望ましい。

6.漏出時の措置

包装（梱包）が破損して簡易粘着部分が露出または、放出等した場合には元の包装に戻し、破損部分を粘着テープで補修するか、または同等の再包装を行う。但し、措置する際に溶剤の吸引を避けるため「暴露防止措置」の保護具を着用すること。

7.取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：取り扱いは火気厳禁とし、通風、換気を良くし、発散を出来るだけ抑え作業環境を許容濃度以下に保つよう努めること。

：取り扱いは保護具（ゴム手袋・保護めがね・保護マスク・安全靴・作業着など）を着用すること。

：消防法、労働安全衛生法など、関連法令の定めるところに従うこと。

：雨水などがかからないように保管をして下さい。

：取り扱い場所周辺の火気使用を禁止し、静電気、衝撃火花などによる着火源が生じないように注意をする。

：直接口に入れたりしない。

：摩擦などによる静電気ショックや静電気障害に注意する。

：輸送あるいは保管時、荷崩れ防止策を講じるようにする。多段に積むと荷崩れを起こしやすく、思わぬ怪我をする事がある。

保管：直射日光、水濡れ、急激な温度変化を避け、火気源の無い場所に保管する。

：一定の決められた場所に保管する。

：雨、風の当たらないところに保管する。梱包の破れなどによる製品の飛散を防止する。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度：該当なし

設備対策：換気装置を設置する

保護具：状況に応じて保護手袋、保護着等を着用する。

9.物理的及び化学的性質

基本材料部分

外観：柔らかい固体

揮発性：なし

溶解度：水にほとんど溶けない

腐食性：なし

臭気：微臭

10.安定性及び反応性

沸 点：データなし
凝 固 点：データなし
見掛け密度：55 (kg/m³) ±10 (kg/m³)
蒸 気 圧：該当しない
蒸 気 密 度：該当しない
P h : 該当しない
安 定 性：水、空気との反応なし

11.有害性情報

基本材料部分
有害分解生成物：データなし
有害な重合反応：知見なし

12.環境影響情報

分 離 性：知見なし
残留性・分離性：知見なし
蓄 積 性：知見なし
魚 毒 性：知見なし
そ の 他：

13.廃棄上の注意

：廃棄する場合は、周辺に飛散しないように注意し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）の区分に従って処理すること。
：公認の産業廃棄物業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合は、その団体に委託して処理する事も出来る。

14.輸送上の注意

：輸送中に包装などが破損した場合は、製品の飛散がないようにする。
：転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を行う。

15.適用法令

基 本 材 料：東京都火災予防例第 34 条

簡易粘着部分：消防法（危険物第四類第一石油類）
安衛法有機溶剤中毒予防規則（第 2 種有機溶剤）
安衛法 57 条表示物質、安衛法施行令第一危険物
労働省平成 9 年指針告示 7 号物質

16.その他の情報

本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、内容は新しい知見により改訂されることがあります。また、記載の注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用ください。

本資料の記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

この危険有害性情報は、工業的用途について一般的な取り扱い等を前提に作成したものです。従って、実際の取り扱い等においては、ここに記載した危険有害性情報を参考にし、十分な注意の上取り扱ってください。
